



“ウォークマン”1号機（型名TPS-L2）は、世界初のポータブルオーディオプレイヤーとして1979年にソニー株式会社によって開発されました。既存の小型テープレコーダーを元に、これを再生専用のステレオプレイヤーに改良し、さらに、スピーカーではなく当時開発されていた超軽量ヘッドホンを採用したことが大きな特徴でした。これにより、音楽をいつでも、どこでも、まわりを気にせず楽しみたいという人々の願望が叶えられ、世界的な大ヒット商品となりました。

場所を選ばず、音楽を聴くことのできる“ウォークマン”1号機は、ライフスタイルに大きな変革をもたらし、人々が世代を問わずいつでもどこでもヘッドホンで音楽を楽しむことができる今日の端緒となりました。そして、“ウォークマン”は、ヘッドホンステレオの代名詞ともなりました。また、“ウォークマン”からステレオミニプラグやガム型電池などの規格も生まれ、デファクトスタンダードとして現在広く普及しています。このように“ウォークマン”は、人々の音楽の楽しみ方やライフスタイルまでを大きく変えた日本発の画期的な技術の代表格です。

- ☆顕彰先 : ソニー株式会社
- ☆展示場所 : ソニー歴史資料館
 〒141-0001
 東京都品川区北品川6-6-39
- ☆ホームページ : <http://www.sony.co.jp/museum/>
- ☆アクセス（最寄駅）: JR品川駅より徒歩15分



②

SONY.
1979年の誕生以来、3年。現在、この

地球上に約500万台。元気に歩みつづけ

ていることを慎んで、ご報告申し上げます。

(ウォークマンと呼べる、ウォークマンは、ウォークマンだけです。)

③



④

(写真提供：ソニー株式会社)

① “ウォークマン”1号機 TPS-L2

② TPS-L2 代々木公園での記者発表における デモンストレーション (1979.6.22)

③ “ウォークマン”誕生後3年の新聞広告 (1982)

④ ソニー歴史資料館に展示の TPS-L2